

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 53番
- *交読文 67番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 13番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 40番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ エステル - 王の喜びのために宴会を整えよ(エステル 5:1-5)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 30番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

彼は___を酒宴の家に連れて行った。___の上にはひるがえる彼の旗は愛であった。(雅歌 2:4) 万軍の主はこの山の上で万民のために、あぶらの多い肉の宴会、良いぶどう酒の宴会、髓の多いあぶらみとよくこされたぶどう酒の宴会を催される。この山の上で、万民の上をおおっている顔おおいと、___の上にかぶさっているおおいを取り除き、永久に死を滅ぼされる。神である主はすべての顔から涙をぬぐい、ご自分の民へのそしりを全地の上から除かれる。主が語られたのだ(イザヤ 25:6-8) あなたは___の敵の前で、___の前に宴を設け、___のこうべに油をそそがれる。___の杯はあふれます。___の生きているかぎりは必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。(詩篇 23:5-6)

イスラエル民族が訴えられ、民族が皆殺しにされてしまうかもしれない危機の時、王妃エステルは、王に直訴するために、イスラエル全民族から断食して祈られ、そして彼女自身も、三日三晩の断食と祈りをして整えて、王妃の衣装を身に帯びて、王の御前に出た。通常なら、王の許し無く御前に出るなら、死刑であるのに、彼女は王の好意を受けて、笏が差し伸べられた。多くの人々に祈られ、命がけで王の前に出たのは、イスラエルの救いを訴えるためだった筈なのに、彼女が王の好意を得、「何でも願いますよ」とまで言われて、真っ先に願った事は、王のために宴会を設けるので来て下さい、という事だった。しかも、あのイスラエルを訴える者・ハマンも一緒に。(エステル 5:3-4) 彼女が最も優先させた事は、願いをくどくど訴える事ではなく、イスラエルの救いという大義名分でもなく、まして、自分達を訴える者を訴え返す事でもなかった。ただ、王の喜びとなる事だった。

今年最初の主日にあたり、どのように歩むべきかを求めた所、エステルのように、王なるキリストの御前に出るに相応しく、まずはキリストの花嫁としての衣装をしっかりと身にまとい、そして、王なるキリストの喜びとなる宴会を彼のために設けよ、という事だった。昨年、一人ひとりの御言葉の領域が格段に広がった一年であり、ノアにオリーブの若枝を届けたの鳩のように、色々な地域へと御言葉というオリーブを届けるべく、羽ばたいて行った一年であった。御言葉(ロゴス)に信仰を混ぜ、宣言したことばは「いのち」となり、そのいのちが進み入る所では、死がいのちへと塗りつぶされて行く事を多く見たが、今年は、それをさらに成熟させて行く年であろう。主は、御言葉に留まるなら何でも欲しいものを求めなさい、と、確かに言われた。(ヨハネ 15:7) 私達は欲しいものを求めなさいと言われたなら、何かと、あれを下さい、敵を退けて下さい、などと求めがちだが、ここはエステルに習い、まずは私達の側が、王なるキリストの喜びとなる事を求めるべきである。

エステルは最初、王妃の衣装を身に帯びたように、私達も「キリストの花嫁」という正確なアイデンティティをまず身に帯びる所から始めるのである。その花嫁衣装とは、聖徒たちの正しい行ないである。(黙 19:8) 私達は日々、キリストと共に歩んで行く事によってのみ、「正しい行い」を積み立てる事が出来、その一歩一歩が「花嫁衣装」を、一織り一織り紡いで行くことになる。エステルが王の好意を得、王妃とされたのは、女達の監督官・ヘガイのアドバイスに従い、彼が勧めたものの他は、何一つ求めなかったからであり、それによって彼女は全ての人から好意を受けた。(エス 2:15) 私達も日々、聖霊の導きとアドバイスに従い、ただキリストの好まれる飾りを身に帯びるのだ。その飾りとは、「柔和で穏やかな霊という隠れた人柄」であり、これこそ御前に価値あるものだ。(1ペテ 3:4) エステルは三十日間、王に呼び出されていなかった所を行ったが、私達も、主から忘れられてしまっているように感じる時、正しい行いを身にまとい、柔和で穏やかな霊を飾りとして身に帯びる所から始めるのだ。

そうして王の喜びとなる宴席を用意するのだが、主の喜ばれるごちそうは、御父の御心を行いその御業を成し遂げる事である。(ヨハ 4:34) 主は、主の御声に聞き従う事ほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれない。御声に聞き従う事、耳を傾ける事こそ、何にも勝る主のごちそうである。(1サム 15:22) 主はベタニアの家に好んで行かれたが、主が好まれたのは、マリヤの「御元に座って話に聞き入る事」であって、マルタの忙しい給仕ではなかった(ルカ 10:41)。また、主がザアカイの宴席で最も喜ばれたのは、彼が悔い改め、財産の半分を貧しい人達に施し、だまし取った物を四倍にして返す告白をした時だった。私達という教会を、主をお招きするための「宴会場」とするためには、「主の御声に聞く」という食物を用意し、「悔い改め」、「主の御心を行う」というごちそうを用意する事である。そのようにするなら、主がベタニアの家を好まれ、ザアカイの家に泊まる事に決められたように、主は好んでその教会の「宴会」に来て下さる。エステルがハマンも宴会に招いたように、その宴会には、私達を訴える者も、同席しているかもしれない。しかしそのようなハマンを気にしてはならず、ただ王なるキリストに喜んでいただく事を求めるなら、主は荒野に、そして、敵の前で宴を設けて下さる。(イザヤ 25:6、詩篇 23:5) 主の好まれる宴を設け、そうして主から、荒野で、そして敵の前で宴を設けられる一年でありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈禱会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト